



HMCは、思想・歴史・言語・文学・教育・芸術・建築・法律・政治・生活等にわたる人文学及び隣接諸分野における卓越した研究者による部局横断的な新たな研究協創のプラットフォームを目指しています。

04  
2021 Summer



# Humanities Center News Letters

企画研究の活動報告

公募研究新規採択と募集のお知らせ

オープンセミナー実施報告

新刊紹介

## ヒューマニティーズセンター（HMC）とは

人文学及び隣接諸分野における卓越した研究者により、部局横断的に新たな研究協創のプラットフォームを目指す連携研究機構。

その対象は思想・歴史・言語・文学・教育・芸術・建築・法律・政治・生活等、広範に及びます。



### HMCの2つの部門

#### LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative (LIXIL 潮田東アジア人文研究拠点=LUI)

株式会社LIXILグループおよび潮田洋一郎氏の財政的支援によりHMCで展開される、日本を含む東アジア研究を一つの柱とする新たな国際人文研究拠点。連携研究者はフェロー（兼務教員）としてHMCに所属。

「企画研究」複数の連携機関所属研究者が協働する共同研究の推進

「公募研究（A）」連携機関所属の個人研究者の海外連携等を後押し

「公募研究（B）」オンライン含む国際研究集会の開催支援

### Humanities Liaison

2020年度に新設したヒューマニティーズリ  
エゾンでは、研究支援人材（URA）を配置

し、既存の枠組みを脱してより広範に研究  
活動を展開させていくことを目指します。



ヒューマニティーズセンター  
Humanities Center

ロゴの四角形は「情報」を表しています。また濃色のオレンジの四角形は「熟成した知識」を示します。各連携部局が連なり、情報を共有しながら、熟成した知識をHMCへ集約させるという理念を表現しています。

## 企画研究

HMCの立案による3～4年で行う共同研究。学内外の様々な機関と連携しながら、現在3つのプロジェクトが実施されています。

### 大江健三郎氏寄託資料に関する基礎的研究

研究代表：安藤宏（人文社会系研究科）

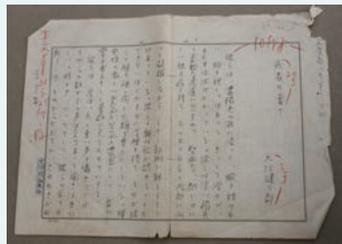
参画教員：唐沢かおり（人文社会系研究科）、塚本昌則（人文社会系研究科）

阿部公彦（人文社会系研究科）、阿部賢一（人文社会系研究科）

大向一輝（人文社会系研究科）、村上克尚（総合文化研究科）

武田将明（総合文化研究科）、和田真生（HMC特任研究員）

2021年1月に人文社会系研究科に寄託された、大江健三郎氏の自筆原稿の整理、データベース化を進め、研究基盤を構築する基礎的研究。近年進展しつつある文学者の自筆原稿に関する資料整備の流れに沿い、今後の草稿研究に新たな可能性を提起します。現在、某所にて自筆原稿を扱う専門スタッフにより整理・目録作成が着々と進行中です。



### 行動する人の歴史：力はどこからくるか

研究代表：松方冬子（史料編纂所）

参画教員：稲田奈津子（史料編纂所）、三枝暁子（人文社会系研究科）

永井久美子（総合文化研究科）、井坂理穂（総合文化研究科）

後藤春美（総合文化研究科）、水野博太（HMC特任助教）

個人が次の一步を踏み出す際に、先人がどうやって生き、変化に対応してきたのかを参考にできるよう、歴史を「動詞」から捉えるという全く新しい歴史の語りの構築を目指す企画研究。

これまで研究会を重ね、「語る」という動詞に着目したオープンセミナー「語る力が権力を作る？—歴史からの問い—」を7月9日に開催。

東京大学ヒューマニティーズセンター  
第39回オープンセミナー

「歴史からの問い—語る力が権力を作る？—」

2021年7月9日(金)  
オンライン開催  
17:30-19:30  
参加費 無料

講師 松方冬子 (史料編纂所 教授)  
水野博太 (ヒューマニティーズセンター 特任助教)  
後藤春美 (総合文化研究科 教授)  
稲田奈津子 (史料編纂所 教授)

登録・申し込み <https://mc.u-toyoku.ac.jp/openseminar/2021/05/power-of-speaking/>  
アクセス 大学のQRコード参照  
主催 東京大学ヒューマニティーズセンター  
03-6841-2064 [humanities@u-tokyo.ac.jp](mailto:humanities@u-tokyo.ac.jp)

ヒューマニティーズセンター  
Humanities Center

## 現代作家アーカイブの構築と発信

研究代表：武田将明（総合文化研究科）

参画教員：阿部公彦（人文社会系研究科）、佐藤麻貴（総合文化研究科）

梶谷真司（総合文化研究科）、岩下弘史（HMC特任研究員）

現代の日本語文学を代表する作家の生の声を記録に残し、国内外の多くの人々に現代日本文学の意義を伝えることを目的として、構築される「現代作家アーカイブ」。飯田橋文学会（平野啓一郎氏他）とのコラボレーションで、現在活躍中の作家が自身の創作活動について語るインタビューを実施。4月12日の文学インタビュー第22回では小説家・詩人の松浦寿輝氏をゲストに招き公開収録が行われました。



## 2つの企画研究が6月で終了しました

## 21世紀における共生の理論と実践

研究代表：梶谷真司（総合文化研究科）

参画教員：中島隆博（東洋文化研究所）、吉見俊哉（情報学環）

佐藤麻貴（総合文化研究科）、中里晋三（HMC特任研究員）

## 学術資産としての東京大学

研究代表：鈴木 淳（人文社会系研究科）

参画教員：佐藤 健二（人文社会系研究科）、山口 輝臣（総合文化研究科）

小国 喜弘（教育学研究科）、尾上 陽介（史料編纂所）

一色 大悟（人文社会系研究科）、吉見俊哉（情報学環）



# 公 募 研 究

## (A) 個人研究

連携部局所属教員を対象とする公募制度を通じて、思想、歴史、文学、教育、芸術、建築、法律、政治、生活等にわたる人文学および隣接諸学分野に関して、国外から研究者を長期間招聘して行なわれる共同研究、または個人で行なわれる研究です。

2021年10月～2022年9月分において、下記4件の採択を決定しました。

### 「場所を共に耕す―「故郷」を初めて知るための対話」

青山和佳（東洋文化研究所）

### 「オランダ東インド会社による「宮廷旅行」の比較研究―日本、マラバール、ペルシア―」

大東敬典（史料編纂所）

### 「体言化の言語類型論：性、数、類別詞および定性を中心に」

長屋尚典（人文社会系研究科）

### 「アジアの都市空間における郷愁の表出と文化遺産の創出：東京とシンガポールの事例を中心に」

松田陽（人文社会系研究科）

## (B) 国際研究 集会 開催助成

日本国外の学術機関に所属する研究者を招聘し、国内で開催される人文学および隣接諸学分野（思想、歴史、文学、教育、芸術、建築、法律、政治、生活等）の国際研究集会を支援する事業です。

2021年4月～6月分において、下記の国際シンポジウムが開催されました。

### 「秦の淵源 ―秦文化研究の最前線―」

鈴木舞（附属図書館） 2021年6月20日

〈報告者〉 飯島武次（駒澤大学）／焦南峰（陝西省考古研究院）

梁雲（西北大学）／角道亮介（駒澤大学）／大日方一郎（國學院大学）

鈴木舞（東京大学）／曹龍（陝西省考古研究院）／菊地大樹（総合研究大学院大学）

平勢隆郎（東京大学）／田畑潤（愛知県陶磁美術館）※紙上発表

【共催】 JSPS 科研費16K03174、19K13405、20K13236、20H05816、20H01345、20H05819、国家社会科学基金項目「涇渭秦墓考古發掘報告」（中国）

【後援】 東京大学附属図書館アジア研究図書館研究開発部門、陝西省考古研究院（中国）、西北大学文化遺産学院（中国）



## 皆さまの研究にぜひ LUI 公募研究制度をご活用ください。

ただいま、下記の助成対象を募集中です。

### (A) 個人研究

#### 三次募集

LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative

「公募研究 (A)」(個人研究)

#### ○助成対象期間

2021年10月1日～2022年9月30日

#### ○助成対象

連携部局所属教員(特任教員、特任研究員、非常勤講師は除く)であることを応募資格とし、思想、歴史、文学、教育、芸術、建築、法律、政治、生活等にわたる人文学および隣接諸学分野に関して、国外から研究者を長期間招聘して行なわれる共同研究、または個人で行なわれる研究を助成対象とします。なお、共同研究者として国外から研究者を最長12ヶ月招聘することができます。

#### ○応募受付期間 (第三次募集)

2021年6月22日(火)～2021年8月31日(火) 23:59 (期間内に必着のこと)



詳細は  
こちら▶



### (B) 国際研究 集会 開催助成

#### 四次募集

LIXIL Ushioda East Asian Humanities Initiative

「公募研究 (B)」(国際研究集会開催)

#### ○助成対象期間

2021年9月1日～2021年11月30日

#### ○助成対象

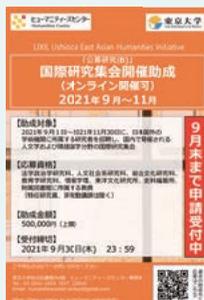
連携部局所属教員(特任研究員、非常勤講師は除く)であることを応募資格とし、日本国外の学術機関に所属する研究者を招聘(オンライン開催を含む)して国内で開催される人文学および隣接諸学分野(思想、歴史、文学、教育、芸術、建築、法律、政治、生活等)の国際研究集会を対象とします。なお、対象となる研究集会は、個人もしくは個人を代表とする研究プロジェクトによって主催されるもので、学科や学会などの組織が主催・後援するものは含まれません。

#### ○応募受付期間 (第四次募集)

2021年6月22日(火)～2021年9月30日(木) 23:59 (期間内に必着のこと)



詳細は  
こちら▶



# オープンセミナー

公募研究、企画研究に参画しているフェローを中心に随時セミナーを開催しています（原則金曜日17時30分開始）。一般公開形式、参加費は無料です。最新の知見に触れられる機会をお見逃しなく！

2021年1月～6月開催



■ 第31回 2021年1月22日

## 「ドイツ語から見た英語と日本語」

稲葉治朗（総合文化研究科）



■ 第32回 2021年2月19日

## 「大規模史料群調査・研究の魅力ー賀茂別雷神社文書からー」

金子拓（史料編纂所准教授）「松永久秀の室と家臣」

遠藤珠紀（史料編纂所准教授）

「元亀乱入方算用状から見る元亀元年志賀の陣」

ディスカッサント：高橋敏子（史料編纂所教授）



■ 第33回 2021年3月19日

## Virtual seminar "Critical Audio Media Practice:

## Listening and Making Culture in Taiwan"

## オンライン研究会「台湾における声のメディア実践」

水越伸（東京大学情報学環）

Eva Tsai 蔡如音（国立台湾師範大学）

毛利嘉孝（東京藝術大学）

忠聡太（福岡女学院大学）



■ 第34回 2021年3月26日

## （特別回）古典教育をめぐる議論：

## 19世紀の日米における事例から考える

水野博太（東京大学ヒューマニティーズセンター特任助教）

原圭寛（湘南工科大学工学部講師）



■ 第35回 2021年4月28日

(特別回)【著者が語る】『扉の向こうの帝国  
— 「イースタン・バンク」発生史論』

川村朋貴 (奈良県立大学地域創造研究センター)

ディスカッサント：大久保翔平 (東京大学大学院人文社会系研究科)



■ 第36回 2021年5月14日

「太郎が花子を裸で描いた」：裸なのは誰？

中澤恒子 (東京大学大学院総合文化研究科)



■ 第37回 2021年6月4日

「トランプとかまいたち：ポストトゥルースの語用論」

藤川直也 (東京大学大学院総合文化研究科)

今後の開催スケジュールは、ホームページをご覧ください

コラボレーションイベント

TCJS Seminar Series talkがHMCとのコラボレーションで開催されました。

■ 2021年4月28日

“Premodern Japanese Studies” and Public Scholarship”

講演者：Christina Laffin (The University of British Columbia)

中世の日本文学や日本文化を研究されているLaffin准教授による講演がオンラインで行われ、大学で人文学を学ぶ意義などについて刺激的な議論が交わされました。

今後のコラボレーションイベントについても鋭意企画を検討中です。  
決まり次第、ホームページ、SNS でお知らせいたします。どうぞご期待ください!

# HMC Booklet シリーズ

HMCでは、人文学及び隣接諸分野に関する新たな研究協創を目指した「Humanities Center Bookletシリーズ」を刊行しています。東京大学学術機関リポジトリUTokyo Repositoryでも公開中。東京大学総合図書館3階にてご覧いただけますので、ぜひお手にとってみてください。

ダウンロードは  
こちらから▶



## 新刊



### Vol.7

#### 「顔の実験心理学(2) — 顔では決まらない顔の印象」

鈴木敦命、宮崎由樹、大江朋子、上田祥行

2021年2月5日発行

1 趣旨説明	1	鈴木敦命
2 衛生マスク×顔印象	6	宮崎由樹
3 環境温度×顔印象	22	大江朋子
4 表情がもたらす二者関係の印象	40	上田祥行



### Vol.8

#### 企画研究「学術資産としての東京大学」講演録3

市村櫻子、寺田鮎美、尾上陽介、鈴木淳

2021年3月30日発行

1 趣旨説明・報告者紹介	2	鈴木 淳
2 「図書館業務として進める 工学史料キュレーション事業の現状とこれから」	3	市村 櫻子
3 「総合研究博物館の工学史料—全体像と田中家三代史料について」	27	寺田 鮎美
4 コメント	61	尾上 陽介
5 コメント	64	鈴木 淳
6 質疑応答	66	
7 エーリッヒ=パウアー教授のコメント	71	



Vol.9

「5E Cognition(Embodied, Enactive, Extended, Embedded, and Ecological) In the Age of Virtual Environments and Artificial Intelligence」

Peter D. Herschick, Maki Sato, Jonathan McKinney, Qin Wang, M. Downing Roberts, Jesús Ilundáin-Agurruza, Emilien Derecenne, Yufei Wang and Dongping Zheng

2021年4月30日発行

0 Preface — What is it to be Human? ..... 1 Maki Sato and Jonathan McKinney

PART I Intuitive Technology and Human Practice

1 The Improvisational Mind and the New Great Game: Buddhist Reflection on Responsive Virtuosity and the Intelligence Revolution ..... 9 Peter D. Herschick

2 Kokoro in the Apparatus of Physical/Psychological and Distributed/Central ..... 20 Maki Sato

3 The Philosopher’s Path to San José: Toward a Cross-Cultural Radical Embodied Cognitive Science ..... 40 Jonathan McKinney

4 A Note on Derrida and Agamben on Animality. .... 73 Qin Wang

PART II Embodiment and the Virtual World

5 Some Remarks on the Representation of A.I. in Cinema ..... 83 M. Downing Roberts

6 Emergent Technologies — Promethean Promises or Frankensteinian Fears? An Enactivist and Japanese Cultural Analysis ..... 101 Jesús Ilundáin-Agurruza

7 Musical Imagination Situated: Baroque Bowing through the Lens of 5E Approaches ..... 147 Emilien Derecenne

8 The Birth of Classical Chinese and its Development — A Classical Case of 5E Imagination ..... 174 Yufei Wang and Dongping Zheng

Short Bios of the Contributing Authors ..... 200



Vol.10

「生活の芸術」と「生の技法」／周作人と日本文学

伊藤徳也

2021年5月10日発行

1 「生活の芸術」と「生の技法」 ..... 1

2 周作人と日本文学 ..... 39

    第1部 中国と日本文学、周作人という人 ..... 41

    第2部 周作人による日本文学の翻訳・紹介 ..... 53

    第3部 終わりに～総評 ..... 60

column

「HMCの本棚」

「香り」にまつわる道具たち



スタッフの内4名で、各専門分野（オペラ、中国近現代文学、江戸歌舞伎、西欧中世美術）の視点から「香り」を分析比較するオープンセミナーを企画中です。美術史担当の私は、香りに関わる「モノ」を中心に文献資料を集めています。例えば教会の聖具として欠くことの

出来ない香炉や、世俗のモノでは聞香に留まらず疫病回避も目的として使用されたポマンダー。ベルト等から吊り下げる球形の香入れで、精緻な構造と美しい装飾に目を奪われます。R.W.Lightbown, *Mediaeval European jewellery*, 1922, p. 355ff. (太田)

## HMC 教員・スタッフ新刊案内



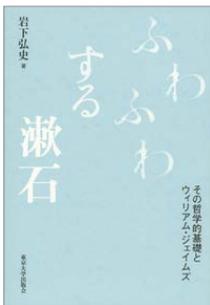
齋藤希史HMC機構長の著作『漢文脈と近代日本 もう一つのことばの世界』(2007年、日本放送出版協会〈NHKブックス〉/2014年、角川ソフィア文庫)の英訳がBRILL社より刊行されました。

Mareshi Saito, *Kanbunmyaku, The Literary Sinitic Context and the Birth of Modern Japanese Language and Literature*  
ISBN : 9789004433465 (hardback), 9789004436947 (e-book)  
出版年月 : 2020年10月、2021年1月 (電子版)  
ページ数 : 231頁 / 定価 : 49€ (税込)



齋藤機構長の著作『漢文脈の近代 清末=明治の文学圏』(2005年、名古屋大学出版会)の中国語訳が、群學出版有限公司より刊行されました。

齋藤希史『「漢文脈」在近代：中國清末與日本明治重疊的文学圏』  
ISBN : 9789869747493 / 出版年月 : 2020年9月  
ページ数 : 372頁 / 定価 : 560元 (税込)



岩下特任研究員の著作が東京大学出版会より刊行されました。

岩下弘史『ふわふわする漱石 その哲学的基礎とウィリアム・ジェイムズ』  
ISBN978-4-13-086063-5 / 発売日 : 2021年03月22日  
判型:A5 / ページ数 : 224頁



## Staff 紹介

### 岩下弘史（特任研究員）

特任研究員として、主に企画研究に関する業務を担当しています。HMCでは分野を横断した多くの魅力的なプロジェクトが進行しており、わくわくする毎日です。私自身の専門は、日本近代文学ならびに思想史で、現在は特に19世紀末を席巻した「退化」言説の研究を進めています。

### 太田泉フロランス（特任研究員）

Humanities Liaisonの部門で、HMCが扱う様々な研究分野同士を面白く結び付ける事が出来ないかと頭を捻っています。Webサイト更新、SNS運営も担当しています。特にTwitterではHMCや連携部局の最新情報等も発信しています、ぜひフォロー下さいませ！専門は西欧中世美術史で、特に金細工作品を研究しています。

### 笠原真理子（特任専門職員）

事務局担当で、財務や公募・企画研究関係の業務をしています。文III、美学藝術学（学部）、文化資源学（修士・博士）出身で、19世紀後半のフランスオペラが専門です。学部時代のサークルでは、フルート、香道、オペラをやっていました！ほぼ高校生以来の毎日早起き生活です…

### 祝世潔（特任研究員）

HMCで主にオープンセミナー・ポスター作成・イベント案内を担当。毎日色々な人とコミュニケーションを取るのがほぼ一年ぶりで大変嬉しいです。20世紀前半、日本から中国に帰国した留学生の文学を研究し、恋愛小説に注目。下宿ではねこが飼えなくて、野良を摂取してねこ不足を解消。

### 中里晋三（特任研究員）

特任研究員として着任し数ヶ月が経ちました。今まで関わりがなかった人文学領域の方々とご一緒するなかで、大いに刺激を受けつつ、凝り固まった視野の広がりを感じています。養育実践についての現象学的な質的研究という、自身の専門をさまざまな視角から深める機会にしたいと思います。

### 水野博太（特任助教）

HMCのオフィスは総合図書館内にあり、その膨大な蔵書にすぐにアクセスできるのが何よりの利点です。今年の1月に博士号を取得できたのですが、博士論文の執筆に大いに役立ったのももちろん、その後の研究、また非常勤講師などの授業準備の面でも大変に助かっています。

### 和田真生（特任研究員）

刊行物の編集を担当。編集しながらあらためてHMCで行われている研究の幅広さに驚きます。自身の研究分野は歌舞伎ですが、この仕事を通して様々な先生や研究と出会えることが楽しいです。所属部門名の「リエゾン」=縁結び（?）。皆さまの赤い糸を手繰ります。

### 東京大学ヒューマニティーズセンター（HMC）

〒113-8654 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学総合図書館4階  
ヒューマニティーズセンター事務局  
Tel:03-5841-2654 (EXT.22654)



<https://hmc.u-tokyo.ac.jp>



[https://twitter.com/HMC\\_UTokyo](https://twitter.com/HMC_UTokyo)



<https://www.facebook.com/HMC.UTokyo>